

## トマト施設栽培における天敵利用による生物的防除技術の実証

### 農場の概要

- ・ 地域：加須市北川辺地区
- ・ 対象作物：トマト

### 導入した資材等

- ・ 「バコトップ」 (タバコカスミカメを用いたコナジラミに対する天敵資材)

### 導入の目的・ねらい

天敵資材の導入により、コナジラミ類に対する化学農薬使用量を従来の栽培方式から3割削減を図る。

### 試験概要

#### (1) 実証ほ概要

実証ほ面積	品種	定植日	資材処理日
45a	かれん	9月30日	10月30日

#### (2) 調査の概要

- ・ 黄化葉巻病の原因となるコナジラミ類による被害低減のため、トマト栽培ほ場に「バコトップ」を放飼した。
- ・ 黄化葉巻病が発生した株の抜き取りをした数と農薬使用量を調査した。



写真1 天敵資材放飼の様子

## 結果概要

- ・農薬使用量（殺虫剤）は前年から8割削減となった。（令和8年2月時点）
- ・黄化葉巻病による抜き取り本数は20本であり、前年より5割ほど減少している。（令和8年2月時点）
- ・施用後3週間ほどでタバコカスミカメの頭数が急激に低下してしまった。理由としては、バンカープランツであるクレオメの導入本数が少なかったことが考えられる。
- ・春先にコナジラミの飛び込みが増加するため、再び天敵を放飼する予定である。

## 生産者コメント

- ・カスミカメを導入した事で散布できる殺虫剤の種類は限られてしまったが、そもそもの散布回数が減った。
- ・しっかり定着することができるとしたらかなりの省力化及び環境負荷低減に繋がる事が期待できる。

## 問合せ先

加須農林振興センター 農業支援部 電話 0480-61-3911



写真2 タバコカスミカメ



写真3 クレオメ